

東交通安全情報 No.10 令和8年6月末の交通事故概況(東警察署管内)

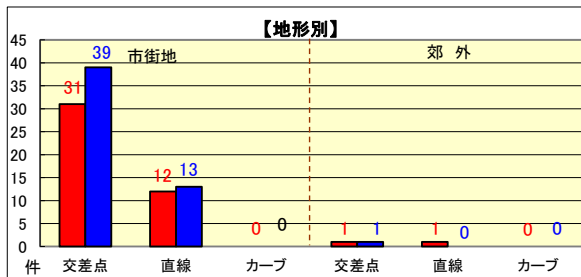
【交通事故発生状況】(概数)

区分/月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年	7年	前年対比
人身発生件数	63	74	74	50	49	45							355	289	66
死者数		1											1	2	-1
傷者数	66	77	86	53	61	48							391	308	83
物件事故	1,126	990	428	345	375	396							3,660	2,708	952

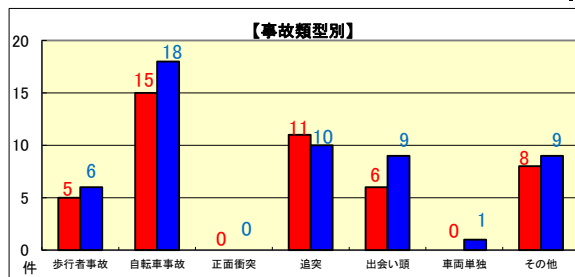
○ 先月と比較して人身事故は減少したが、物件事故数は増加した。

■ ~ 令和8年 ■ ~ 令和7年

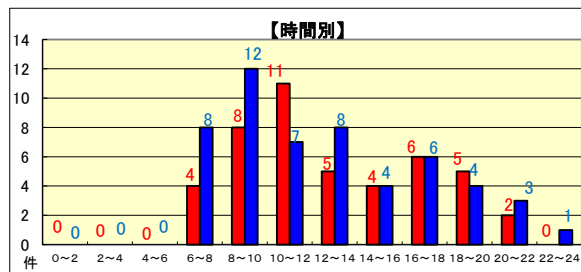
人身交通事故の主な特徴(6月中)



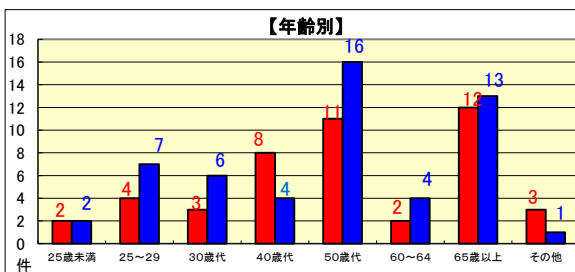
○ 昨年と比べ、郊外直線での事故が1件であるが発生している。市街地交差点での事故が最も多く、全体の68.9%を占めている。



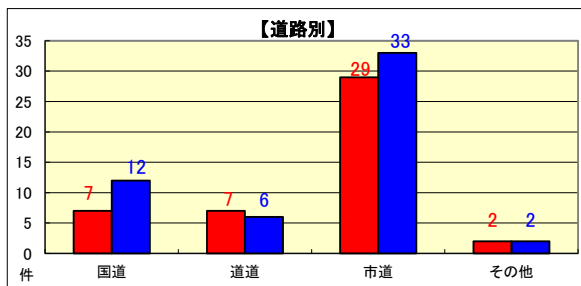
○ 昨年と比べ、全体の事故件数は減少しているが、追突による事故が増加している。また昨年と同様に自転車事故が最も多い。



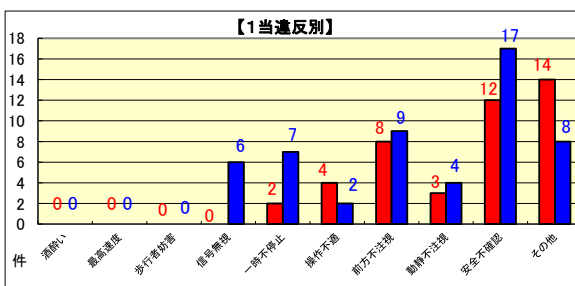
○ 昨年と比べ、6~8時台・12~14時台の事故が減少するも、10~12時台の事故が大幅に増加し、18~20時台の事故も増加している。



○ 昨年と比べ、40歳代の事故が大幅に増加するも、65歳以上の事故が最も多く、全体の26.7%を占めている。



○ 昨年と比べ、道道での事故が増加しているが、市道での事故が最も多く、全体の64.4%を占めている。



○ 昨年と同様に比べ、安全確認による事故が最も多く、次いで前方不注意による事故が多い。

気温の上昇や食後の血糖値変動による眠気や身体に疲れが残っている時は集中力が低下するため、ぼんやり運転に気をつけましょう！

